

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105081
法人名	医療法人 尚文会
事業所名	グループホーム 竹山苑
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2570番地1 (電話) 099 - 298 - 2161
自己評価作成日	平成30年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

山々に囲まれたのどかな田園風景の広がるところに竹山苑があります。窓からの日差しや心地よい風、四季折々の花など自然を身体で感じられる環境です。
私たちの笑顔で利用者が笑顔になり穏やかに安心して暮らして頂けるようお手伝いさせていただきます。また行事などを通して家族や地域との繋がりを大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は静かな田園風景の広がる集落に立地し、周辺を散歩したり外での食事やソーメン流しなど、自然一杯の中で楽しんでいる。中庭にスロープの避難経路を整備し、利用者の往来・交流にも活用している。
- ・自治会に加入し、回覧板や事業所の「竹山苑だより」などで地域と情報を共有している。地域の行事や避難訓練に積極的に参加する一方、夏祭りや敬老会などの事業所行事には多くの地域住民の参加がある。児童クラブとの交流や中学生の体験学習を受け入れ、中学生が育てた花が学期毎に届けられる。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援や各種研修への出席を奨励している。
- ・職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向を大切にして、家族とカラオケに出かけるのを支援したり、晩酌を取り入れたり、笑顔でその人らしい生活ができるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、理念の唱和を行い理念を共有し実践に繋げている。	職員で話し合った独自の理念があり、事業所内に掲示し、パンフレットや重要事項説明書にも掲載している。毎朝の申し送り時に唱和し、ミーティング等で確認し、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	事業所は自治会に加入し、それぞれの活動や行事に参加し交流を行っている。	自治会に加入し、回覧板や「竹山苑だより」で地域と情報を共有している。地域行事にも積極的に参加している。事業所行事の夏祭りや敬老会などに多くの地域住民の参加がある。児童クラブとの交流や中学生の職場体験・ボランティアの受け入れなども行っている。食材は地域の商店を利用するなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	児童館交流や中学生体験学習などを通して利用者と交流する機会がありその中で、認知症の方について理解して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し入所状況や活動報告、話し合いを行っている。意見などは事業所のサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催し、入居者の状況や行事報告・外部評価報告・ヒヤリハット等の報告を行い、意見交換をしている。理念に対する意識づけに助言があり、朝の申し送り時の唱和に繋がっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日頃より市町村担当者と相談、情報交換などを行っており協力関係を築くように努めている。</p>	<p>市・支所担当者には、窓口に向き相談や報告・情報を交換して助言を貰っている。地域包括支援センター職員とは、運営推進会議を通して協力関係ができています。生活保護関係の報告や相談も必要に応じて行っている。毎年介護相談員の受け入れも行っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員は、身体拘束の研修や勉強会に参加し具体的な行為やそれに伴うリスクについて理解しており拘束しないケアを心がけている。</p>	<p>外部研修に参加したり、事業所でも勉強会を実施し、対象となる事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束や声かけなども日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員は、高齢者虐待防止について研修や勉強会で学ぶ機会がある。利用者の尊厳を守り事業所内で虐待が行われることがないように防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員は、研修や勉強会で権利擁護について学ぶ機会がある。利用者の自己決定の尊重を守り支援するよう努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、利用者や家族に分かりやすく丁寧に説明できるように心がけている。できる事、出来ない事も伝え理解して頂けるよう努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会時や利用者との日常会話の中で要望や意見を聞くよう心がけている。それらを運営に活かせるよう努めている。玄関には意見箱を設置している。</p>	<p>利用者からは暮らしの中で意見や要望を聞き、介護相談員からの意見も取り入れている。家族からは面会や電話・家族会などもよい機会となっている。出された要望などで、仏壇にお茶を上げる習慣の持続や家族とカラオケに行くなどを取り入れている。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやカンファレンスで意見や提案が出しやすい環境にある。運営会議で話し合い検討し運営に活かせるよう努めている</p>	<p>職員会議やフロア会議等で職員の意見を聞く機会を設けており、新入職員も気軽に意見を言える雰囲気作りをしている。事務長・管理者は毎朝職員に声かけし、必要時に面談している。管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。職員の提案でベッド近くにコルクマットを敷いて転倒防止に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、定期的に事業所を訪れ職員のやる気に繋がる声かけや環境の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、職員が法人内外の研修に参加できるように推奨しスキルアップ制度を支援している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会などの研修に参加し他事業所との意見交換や交流を行いサービスの向上やキャリアアップに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人と話しをする時間を作り困っている事や心配な事はないか聴くようにしている。家族と密に連絡を取り本人の要望に添えるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人と家族とのこれまでの関係性やおかれてる状況などいかがいながら本人と一緒に支えていく関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者、家族の主訴などを受け自立支援の視点で必要なサービス提供に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人がこれまで暮らして来られた日々やこだわり、大切にしている事などを把握し尊厳ある対応に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	体調変化や特変があった時その都度家族に相談している。月に一度お便りを出しており利用者の活動や暮らしぶりをお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所されても知人や家族がいつでも面会に来られる機会があり馴染みの関係が途切れないよう支援している。	家族や友人・知人・かかりつけ医の立ち寄り訪問などがあり、お茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう支援している。手紙や電話の取次ぎも行っている。馴染みの移動理美容室の利用もある。家族の協力ですぐ外出や外食・墓参に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で利用者同士の関係性を把握し孤立する事がないよう配慮しながらお互いに支え合うよう助言している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもこれまでの関係性を大切にしたいと思っている。必要に応じて本人、家族の相談など支援するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の関わりの中で本人の話を傾聴し思いに向き合うケアに努めている。	家族からの情報を得ながら、日々の関わりの中で本人の希望や意向の把握に努めている。職員も気づきを記録している。把握が困難な場合は、家族と相談したり利用者の視点に立って職員間で話し合い、本人本位に検討している。出された希望で、晩酌を取り入れた例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴からの情報や本人、家族からの情報の中からこれまでの生活を把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや記録、一人ひとりとの関わりの中で現状を把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望を担当者会議で話し合っている。日々の申し送りやケアの中での気づきを検討し現状に合ったケアプランを作成している。	本人や家族の希望や意見等を聞き、主治医の意見を参考に、担当者会議で話し合い介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランにそったケアを心がけている。申し送り事項は業務日誌で行い情報を共有している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じ必要なサービスを検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>病院や移動美容室、ドラッグストアなど本人の希望、要望に応じ利用できるよう支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>引き続きかかりつけ医で診てもらいたいと希望される方に関してはそのままお願いしている。それ以外の方は苑の協力病院で診て頂いている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。他の医療機関の受診は、家族の協力を得ながら支援している。訪問診療は月1~2回、マッサージも週2回受けている。歯科の往診もある。緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の関わりの中で気づきや状態変化を伝え病院受診に繋がっている。適切な治療ができるよう医師や看護師に情報提供を行い支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時サマリー等で情報交換を行い適切な治療ができるように病院関係者と連携を取り早く退院できるよう支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族と終末期について話し合う機会がある。要望を叶えるためにカンファレンスを行い支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明している。状況変化時に家族の意向を確認しながら、訪問診療や訪問看護と連携・協力して支援に取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修や勉強会で応急手当について学ぶ機会があり実践に役立っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練（消防立ち合い）の実施や防災会議の開催で災害発生に備えて全職員が適切な対応ができるように訓練している。</p>	<p>年2回避難訓練を昼夜想定で実施し、1回は消防署の立ち合いがある。防災会議をホームで実施し、避難についての検討会を行い、居室入り口に非常持ち出し袋を掛けている。地域の防災訓練に参加し、自動通報装置に住民の登録をする等、地域の協力体制を築いている。非常用の備蓄は水・米・レトルト食品・乾パン等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の人格を尊重し誇りやプライバシーの確保に努め声かけに気をつけ対応している。	研修会や接遇等の勉強会を行い職員の資質向上に取り組んでいる。入室や入浴介助・排泄介助などでは羞恥心に配慮を行っている。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションを大切にその中で本人が思いや希望を言えるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の好きな事（踊り、歌、体操）などを取り入れた、本人の希望そった日々が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴時など本人の好みの服を聞きその人らしいおしゃれができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日には本人の好きな物を取り入れた献立を召し上がって頂いている。食事前には献立を紹介している。季節や行事食をメニューに取り入れている。	差し入れの野菜や菜園の野菜・旬の食材で嗜好に配慮した献立を作成している。個々に応じた食事形態を提供している。にがりの佃煮や干し柿作りなどを職員と一緒にしたりもしている。誕生日には好きなものを聞き、提供している。季節の行事食や弁当持参での花見など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態を把握し刻み食やミキサー食、とろみ剤を使用している。水分は好みの飲み物で対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけを行いできる所は本人にして頂き仕上げ磨きは職員が行っている。ポリデント洗浄を行い清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて個人の排泄の習慣を把握し声かけトイレ誘導を行い自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンやリズムの把握に努めている。必要に応じての声かけや見守りを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間はポータブルトイレなどで個々に対応している。排泄用品は状況に応じて適切に使用している。手作りヨーグルトや水分補給で自然排便を促す支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事を中心に食物繊維を多く含まれる食事を提供し手作りヨーグルトをメニューに取り入れ自然排便を促すように支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一緒に着替えの準備をしたり本人好みの湯の温度に設定したり入浴を楽しんで頂けるよう支援している。	基本的には週2回、午後の入浴になっているが、個々人の体調や希望に沿って柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には時間調整など職員の連携で、入浴を楽しめるよう支援している。必要に応じて足浴やシャワー浴・陰部洗浄なども随時実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の温度管理を行い、一人ひとりのペースに合わせて休んで頂けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルにそって支援している。薬の変更があった場合は業務日誌で申し送っている。服薬後の体調変化に気付くように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりが力を発揮でき達成感や喜びが持てるよう支援している。得意な事をお願いし感謝の言葉を伝えやる気に繋げている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの体調をみながら本人の希望にそって外気浴や散歩などの支援を行っている。また家族の協力を頂きながら外出支援ができるよう支援している。</p>	<p>日常的に近隣の散歩や菜園を見に行っている。弁当持参の花見やアジサイ・コスモス見物に出かけたり、数人でのドライブを実施している。外気浴を兼ねた中庭でのお茶・食事で、気分転換を図っている。家族と墓参りや外食等で外出する利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設でのお金の預かりはご遠慮頂いている。買い物は外出時に必要な物を買われたり日用品は立て替えでの支援になっている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話をかけたり取り次いだりする事ができ家族や大切な人と関わりを持つ事ができる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の中で音や光、室温など不快に感じないよう配慮し季節の花や装飾をし居心地よく過ごせるよう工夫している。	共用の空間は天井が高く広々としている。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。フロアには行事の写真や季節を大事にした飾りつけがされている。2ユニット間を自由に行き来している。中庭も広々して開放感がある。多くのソファが設置され、好きな場所で居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居用空間の中で利用者同士の関係性を把握し席の配置を考慮している。フロアにソファを置いてくつろいで頂けるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使用されていた馴染みの椅子やたんすなどを持ち込んだり好きな本や写真を飾り本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。	ベッド・タンス・クローゼット・加湿器のある居室に、本人の好みや必要によりテレビや整理タンス・机・椅子・ソファ・仏壇・位牌などを持ち込み、ぬいぐるみや時計・ひげそり・写真等を置いて、本人が安心して過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内の動線を考え本人が安心して歩けるように配慮している。手摺りを使って安全に歩行できるよう見守り声かけを行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない